

## 事業名

# 私の防災力をUPさせよう！ ～家庭や地域で役立つ実技付～

### 実施センター

八王子市男女共同参画センター

施設名 八王子市男女共同参画センター

東京都八王子市東町5-6 クリエイトホール8階

Tel. 042-648-2230 Fax. 042-644-3910

E-mail. b050900@city.hachioji.tokyo.jp

URL <http://www.city.hachioji.tokyo.jp/33852/danjokyodo/index.html>

### センターについて

男女共同参画社会の形成を目指し、その推進拠点として平成15年に開設。「女性にも男性にも役立つ情報の提供」として情報紙の発行、図書資料の貸し出しを行うほか「学習の場の提供」として各種講演・講座の開催、職員による出前講座を実施。また、学習・求職支援のための託児（ほっとタイムサービス）を実施。

生き方や夫婦・家族関係に悩む女性の相談窓口として「女性のためのカウンセリング・弁護士相談」等を行うなど、男女共同参画の実現に向けて市民を支援する事業を行う。

## 実施までの経緯

近年大規模な災害が多発しているが、女性の視点での防災対策が十分ではない点が多く、配慮が足りないが故に女性が不利益を被る事案が発生している。

また、災害時には、男性は職場に駆けつけ、女性や子ども、高齢者が地域に取り残されるという状況となってしまう。

そこで、いざという時に家族や地域を守り、女性の視点を持って防災・防犯の活動ができる女性の人材育成を目的として講座を実施した。

## 学習プログラムの概要

事業の目的：女性の視点を持って防災・防犯の活動ができる女性の人材育成を目指す。

日時・会場・内容：

	日時	会場	内容
第1回	9/11（火） 10時～12時	クリエイトホール 第5学習室	なぜ災害時に女性の視点が必要か・女性が防災ボランティアを行う意味・ボランティアの役割、心得、注意事項
第2回	9/18（火） 10時～12時	クリエイトホール 第5学習室	八王子市の災害時の対策（東日本大震災での活動紹介）災害時支援ボランティアの紹介
第3回	9/25（火） 9時30分～12時	船森公園 + クリエイトホール レクリエーション室	消火訓練（初期消火訓練、応急救護（AED）、救出・通報訓練など）

第4回	10/9 (火) 10時～12時	クリエイイトホール レクリエーション室	護身術 (セルフディフェンス)
第5回	10/16 (火) 9時30分～12時	クリエイイトホール 第2学習室	女性の視点から考える避難所運営ゲーム (HUG)・ グループで発表、まとめ

対象者：地域での防災活動に興味のある女性で、全回出席できる方（市内在住）

定員：24名

費用：200円（全5回分）

協力：八王子消防署



（第3回）AEDの操作を学ぶ



（第5回）HUGを体験

## わたしの防災力 をUPさせよう！

～家庭や地域で役立つ実技付～

いつか来る災害に備えて、「わたし」にできることから何でしょうか？  
「災害対策」というと男性中心なイメージですが、実は女性の視点や力が必要不可欠なことが  
わかってきています。  
この講座では、1日3回という頻りに反し「防災力」を身につけていただくため、「女性の視点」に  
立った防災対策の心得や実技を学びます。  
家庭だけでなく、地域での防災ボランティア活動などにもお役に立てたい。

**①9月11日(火)**  
**10時～12時**

・災害時に活かす女性の視点  
・防災ボランティアの心得

**②9月18日(火)**  
**10時～12時**

八王子市の災害対策とは

**③9月25日(火)**  
**9時30分～12時**

・消火訓練（場所：船橋公園）  
・消防訓練  
・救命救護（AED）

**④10月9日(火)**  
**10時～12時**

心と体の力に気づく  
女性のための護身術

**⑤10月16日(火)**  
**9時30分～12時**

避難所運営ゲーム (HUG)

●対象：地域での防災活動に興味のある女性で、全回出席できる方（市内在住・在勤）  
●会場：クリエイイトホール10階 第2学習室 様々  
（八王子市東町1-1-1 JR八王子駅または京王八王子駅 各徒歩4分）  
●定員：20名（申込み多数の場合は京王八王子駅 各徒歩4分）  
●費用：200円（全5回分）  
●お問合せ先：八王子市男女共同参画センター（電話：042-648-2230）

お申込み方法は裏面に記載されています。

募集のチラシ

## 学習プログラムの具体的構成

### 第1日目（平成24年9月11日）

時間	内容	ねらい
10:00	職員あいさつ 男女共同参画センターの紹介	
10:05	講師：常光 明子さん （男女共同参画センター横浜北事業課長） 内容：災害時に「女性の視点」が必要なわけ・女性が防災ボランティアを行う意味・ボランティアの役割、心得、注意事項	災害時になぜ「女性の視点」が必要なのかを理解してもらう。 防災ボランティアとはどのような役割で、実際はどのような活動を行うのか知ってもらい、ボランティアをする時の参考にってもらう。
12:00	終了・アンケート回収	

### 第2日目（平成24年9月18日）

時間	内容	ねらい
10:00	講師：八王子市防災課職員 内容：八王子市の災害時の対策	八王子市の災害対策について理解してもらう。
11:00	講師：八王子市消防団女性隊 隊員 内容：消防団女性隊の活動紹介 災害時支援ボランティアの紹介	市内で活躍する女性消防隊員（ロールモデル）の存在と活動内容を知る。
11:25	講師：八王子市防災課職員 内容：八王子市の災害時の対策（続き）	自助と共助の考え方を学ぶ。
12:00	終了・アンケート回収	

### 第3日目（平成24年9月25日）

時間	内容	ねらい
9:00	職員あいさつ	本日の内容を理解する。
9:30	講師：八王子消防署員 内容：通報訓練、包帯法訓練、応急救護（AED） 【近隣公園内にて消火訓練を予定していたが雨天のため中止】	ボランティアとして活動する際必要となる技術を習得する。
11:30	グループワーク ファシリテーター：職員 内容：自己紹介、受講動機、どのような活動をしたいか	講座終了後のグループ結成に向けて仲間作りを促す。
12:00	終了・アンケート回収	

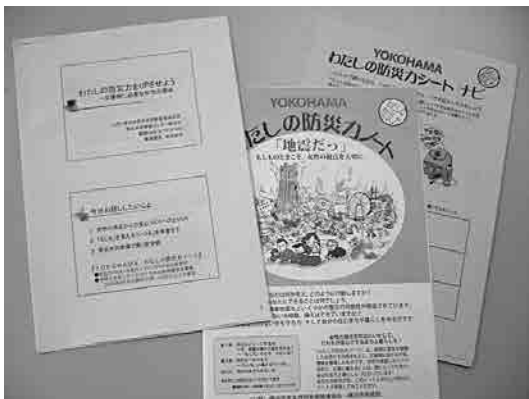
### 第4日目（平成24年10月9日）

時間	内容	ねらい
10:00	職員あいさつ	なぜ「護身術」が必要かを理解する。
10:02	講師：橋本 明子さん （リアライズYOKOHAMA 代表） 内容：心と体の力に気付く 女性のための護身術	被災地では性暴力の危険性が高まるため、「もしも」に備えて「護身術」を学ぶ。
11:00	休憩	
11:05	再開	
12:00	終了・アンケート回収	

### 第5日目（平成24年10月16日）

時間	内容	ねらい
9:30	職員あいさつ	自主グループを案内し結成を促す。
9:32	講師：天寺 純香さん （災害救援ボランティア推進委員会） 内容：避難所運営ゲーム（HUG）、グループで発表、まとめ	避難所の運営について、その手法や手順をゲームを通して学ぶ。
12:00	終了・アンケート回収	

### 教材（例）



## 企画時や実施時に工夫したこと

- 他自治体での「防災」に関する講演会はあっても人材育成の講座は事例が少なく、企画に苦労した。限りある回数でより有益で充実した内容になるよう工夫した。
- より実践的な内容とするため、座学ばかりではなくグループワークや体験型の内容を多く取り入れた。
- 女性が参加しやすいようなタイトル付けを心掛けた。
- 講座内に「交流の時間（3回目）」を設けることで参加者同士が仲良くなり、その後の「自主グループ作り」がスムーズにいくよう配慮した。
- 防災課や消防署にも協力を仰ぎ、市全体で取り組んでいくよう心掛けた。
- より興味のある方へ周知するため、募集の際には「防災情報メール配信サービス」（登録者に配信）を活用した。

## 参加者の声

- ただ話を聞かせるのではなく、自分で考えたり判断したりする場が用意されたのはとてもよかった。（1回目）
- 避難所での現実、報道されていない事もたくさんあったことを知り、実際に災害が起きた時防ぐ事が出来る様、力になりたいと思った。（1回目）
- 女性の目から見たわかりやすい説明をしてくださりよくわかりました。自助・共助・公助のことがよくわかりました。八王子全体のことがよくわかりました。（2回目）
- 女性が随所にいるということはとても心強いです。女性が多く活躍しているのを初めて知った。（2回目）
- AEDや身近な道具を使った応救手当がとてもためになりました。実際に手を動かさないと身につかないですね。（3回目）
- 救急車を呼ぶ訓練など、実際にやってみることで初めて知ったこと、分かったことがあり本当に勉強になりました。また、今回の講座に参加された方のお話を聞いたのも非常にためになりました。（3回目）
- 自分を守るのは自分ということ。初めてのことでばかりだったのでWEN-DOを習って良かったです。（4回目）
- 訓練の大切さを感じました。護身術を娘たちにも学ばせたいと思いました。（4回目）
- 女性の視点で、防災について見直しをしていくことの重要性がよくわかりました。（5回目）
- HUGを体験して、実際に起こる可能性がある事柄を知ることができ、勉強になりました。起こりそうな事を想定しておくことが大事だなと思いました。（5回目）
- 女性の目から見た防災、というものに初めて触れたので、それだけでこんなに違うのかとビックリしました。（5回目）

## 実施後の状況

講座内で度々「自主グループ」の案内をし、講座内で交流の時間を設けるなどを行ったため、グループを結成することができた。(24名中11名が参加)

当センターの部屋を提供し、活動の場として役立ててもらっている。

主に情報交換を行い、それぞれの防災活動に役立てているようである。

## 今後に向けた課題

- 地域で活躍できる女性の人材育成を目的として開催したが、受講後、地域での活動の実践に結びつくことが難しいため、受講者へ継続してフォローしていくことが必要である。
- 一部の受講生により自主グループを結成したが、グループで活動を継続し、その活動を地域で活かすためのサポート体制が必要である。
- 受講者のフォロー及びサポート体制を構築するにあたっては、男女共同参画センターの職員だけでなく、防災関係所管や庁外の関係機関との連携が必要となるが、この体制をいかに構築していくかが、今後の課題となる。